

第 2 回みやぎ建設産業振興懇談会からの主な変更点について

1 本プランの名称決定

これまで（仮称）としていたプラン名を「第 3 期みやぎ建設産業振興プラン」とする。

2 数値目標の一部見直し

- 第 2 回懇談会及びパブリックコメントの結果等を踏まえて、基本目標 3 「経営の安定・強化」の数値目標を「2%以上」から「3%以上」に見直し（資料 1 P40）
- 基本目標 3 の数値目標の見直しと併せて、基本目標 1 の数値目標（新規高卒者の建設業への入職割合、完全週休 2 日制の導入割合）も現状以上を目指すことを明確にするため端数切上げ（資料 1 P39）

3 章立ての一部見直し

第 2 回懇談会時点では、「第 4 章 基本理念及び基本目標」に含まれていた「数値目標」及び「推進体制」を組み換えし、「第 6 章 数値目標及び推進体制」を新設（資料 1 39～42）

（参考）プラン目次の対比（変更箇所を下線）

第 2 回懇談会時点の目次	最終案の目次
はじめに	はじめに
第 1 章 本県の建設産業を取り巻く現状	第 1 章 本県の建設産業を取り巻く現状
第 2 章 前プランの検証	第 2 章 前プランの検証
第 3 章 課題及び方向性	第 3 章 課題
第 4 章 基本理念及び基本目標	第 4 章 基本理念及び基本目標
第 1 節 基本理念	第 1 節 基本理念
第 2 節 <u>基本目標及び数値目標</u>	第 2 節 基本目標
第 3 節 <u>推進体制</u>	_____
第 4 節 <u>SDGs との関係</u>	第 3 節 <u>SDGs との関係</u>
第 5 章 各基本目標を推進する施策	第 5 章 各基本目標を推進する施策
	第 6 章 <u>数値目標及び推進体制</u>

4 資料編の追加

本プランの策定経過の記録（みやぎ建設産業振興懇談会の議事概要やアンケート調査）のほか、参考とした統計資料や関連計画等を資料編として追加（資料 1 P43～）

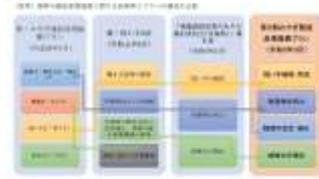
（参考）資料編の目次

1 建設産業関連統計資料
2 本プラン策定までの経過
3 みやぎ建設産業振興懇談会の概要
4 建設産業振興に関するアンケート調査
5 宮城県における建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する計画等の概要
6 本プランと SDGs との関係

5 第3章 課題の記載内容の見直し

課題を見出しにしていたところを、前段の現状や前プランの検証内容等を踏まえた現状の考察から課題が整理されるように記載内容の見直し（資料1 P20-21 参照）

（参考）第3章の記載内容の比較

第2回懇談会時点	最終案時点
<p>第3章 課題及び方針性</p> <p>本計画の策定は、地域の現状を踏まえ、国・自治体の政策、関係機関との連携を図りながら進められるべきものである。今後の課題として以下の課題を挙げる。</p> <p>課題1 産業界に本計画策定の協力を得る必要がある</p> <p>国・自治体の政策に合わせ、産業界の協力を得る必要がある。産業界の協力を得るためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握し、産業界の課題を解決するための施策を講じる必要がある。</p> <p>課題2 オイパーションを通じた産業界との連携の強化</p> <p>オイパーションを通じて産業界との連携を強化する必要がある。オイパーションを通じて産業界との連携を強化するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握し、産業界の課題を解決するための施策を講じる必要がある。</p> <p>課題3 産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある</p> <p>産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある。産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するための施策を講じる必要がある。</p> 	<p>第3章 課題</p> <p>第2回懇談会での議論を踏まえ、国・自治体の政策、関係機関との連携を図りながら進められるべきであることを踏まえ、今後の課題として以下の課題を挙げる。</p> <p>1. 産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある</p> <p>産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある。産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するための施策を講じる必要がある。</p> <p>2. 産業界との連携を強化する必要がある</p> <p>産業界との連携を強化する必要がある。産業界との連携を強化するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握し、産業界の課題を解決するための施策を講じる必要がある。</p> <p>3. 産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある</p> <p>産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある。産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するための施策を講じる必要がある。</p> <p>4. 産業界との連携を強化する必要がある</p> <p>産業界との連携を強化する必要がある。産業界との連携を強化するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握し、産業界の課題を解決するための施策を講じる必要がある。</p> 

6 SDGsとの関係性の整理

本プランの各施策とSDGsとの関係性を改めて整理し、7つのゴール（4、5、8、9、11、16、17）の視点と関連付け（資料1 P91 参照）

（参考）施策ごとに関係するSDGs

基本目標	施策	該当するSDGsのゴール	施策とSDGsのゴールとの関係
1 若い世代の活躍を促す	働き方改革の推進	8 働きがい、経済成長	働き方改革等により改革の推進は、ゴール8の達成につながる。
	若者・女性の活躍及び定着	4 質の高い教育、公平な機会 5 ジェンダー平等 8 働きがい、経済成長	若者・女性等による働き方改革の推進はゴール8の達成につながる。若者・女性等による働き方改革の推進はゴール4、5、8の達成につながる。
	建設産業の振興的施策	4 質の高い教育、公平な機会	上級専門学校への授業を行うなど、若者のスキル向上に資する施策はゴール4の達成につながる。
2 生産性向上の促進	現場の省力化・効率化	8 働きがい、経済成長 9 産業、基盤構造の革新	ICT技術の活用による生産性の向上は、ゴール8及びゴール9の達成につながる。
	技術力・専門力の強化及び評価	4 質の高い教育、公平な機会 8 働きがい、経済成長	若者・女性等による働き方改革の推進はゴール4に貢献し、ゴール8の達成につながる。
3 地域社会の発展	産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある	8 働きがい、経済成長 9 産業、基盤構造の革新	産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある。産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するための施策を講じる必要がある。
	産業界との連携を強化する必要がある	8 働きがい、経済成長 9 産業、基盤構造の革新	産業界との連携を強化する必要がある。産業界との連携を強化するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握し、産業界の課題を解決するための施策を講じる必要がある。
	産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある	8 働きがい、経済成長 9 産業、基盤構造の革新	産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握する必要がある。産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握するための施策を講じる必要がある。
	産業界との連携を強化する必要がある	8 働きがい、経済成長 9 産業、基盤構造の革新	産業界との連携を強化する必要がある。産業界との連携を強化するためには、産業界の現状を把握し、産業界の課題を把握し、産業界の課題を解決するための施策を講じる必要がある。

7 文言・グラフ等の修正

そのほか、上記1～6以外に、パブリックコメントや庁内関係課等の御意見等を踏まえて文言・グラフ等の修正を行っている。